昭和32年4月28日印刷
昭和32年5月1日発行

奈良市民だより
【第54号】

発行所
奈良市役所
編集兼発行人　市民課長　大西一之
印刷所　共同印刷工業

昭和32年度予算総額 一般会計 6億77,732千円

昭和三十二年度 市政運営の方針を決定

予算総額 一般会計六億七七三二千円 水道事業会計二六〇、四〇〇

昭和三十二年度水道事業会計歳入歳出予算案が市会に上程されたのが三月十一日、翌十二日特別委員会において可決、十九日本会議で可決決定をみた、同じ十九日に市長は更に昭和三十二年度一般会計予算について提案しその理由説明を行つた。議会は二十、二十一日休会となり二十二日一般質問に入り之が終了後委員会負托となつて二十三、二十五、二十六日予算委員会が開かれた後二十八日市会は開会せられて予算案は可決決定を見るに到つた、左に本会議における市長の予算案提案の理由説明の要旨を要約して昭和三十二年度における奈良市政運営の大綱をお伝えすることにしました。

昭和三十二年度予算の編成に当りましては、財政再建第二年度として、既に定められました財政再建計画に基いて編成しなければならないことと定められているのでありますが、既に再建計画変更の議案説明でも申し上げてありますが政治は生き物であり、且まぐるしく変転する世相に対処して、適切な施策を施すことこそ「生きた政治」であり政治の要諦であるとの信念から、昭和三十二年度初頭において見透される諸般の情勢を判断し、限りある財源を如何に配分することが最も良策であるかということに腐心した次第であります。

最近、しきりに国全体を通じて「神武以来の好景気」といわれているとはいえ生産都市でないわが奈良市の如き消費経済都市におきましては、必らずしも市民生活は格段に向上安定したとは考えられないのであります。

財政再建第二年度として、常に民生の安定と市民福祉の増進を念願する私と致しましてはまことに心寒い感にうたれるのであります。

私は、市長に就任致しましてより過去六年間、ひたすら奈良市政の伸張発展のため敢えて可なり積極的な財政施策を、採つて参り、実施致しました投資的事業の総額も十億円を超える額に上るのであります。これがため全国的な地方財政の窮乏と相まつて財政危機に追い込まれたこともあつたのでありますが、幸いにして財政再建も漸く本格的段階に入つたことを感謝致す次第であります。

さて昭和三十二年度予算編成の基本方針と致しましては、冒頭に申し上げましたように現実に即した市政の運営を標榜し、徒らに委縮することなく、市民福祉につながる諸施策は果敢に遂行する決意を固め、再建計画を変更してでも行う決心のもとに、既に自治庁当局にも了承を得て歳出枠も五千万円以上も膨張したのでありますが、何分絶対命題であります財政再建債の元金償還だけで三千四百万円余りを充当しなければならない関係上、議会の要望を全面的に織込んだ予算の編成ができなかつたことは私と致しましても遺憾に存じています。

なお、目下国会において審議中の諸議案のうち、地方行財政関係のものも多数あるわけでありまして、既に新聞等でも御承知の通り地方税制の改正、国家公務員の給与改訂等本市財政に影響するものも少くないのでありますが、現在のところ具体的にその計数等を把握することが至難でありますので、一応現行制度により編成し、後日これらの確定をまつて予算の補正措置を講じたいと考えておりますので、予め御了承願いたいと存じます。

（高橋市長）

財政再建の基本方針に則り編成致しました**昭和三十二年度予算**は、歳入歳出とも**六七七、七三二千円**となつたのでありまして、前年当初の財政規模に比べますと二四四、八一三千円も下廻つているのでありますが、これは申し上げるまでもなく、前年度には二四五、〇〇〇千円という赤字棚上げのための予算措置が含まれていたためでありまして、これを除外致しますと財政規模としては前年と大差ないことを御了承願えるかと存ずるのであります。

なお財政再建計画によつて御承知願つております通り、昭和三十二年度は歳入歳出の差引見透しは実質的には二六、七六一千円の赤字を予定しているのでありますが、予算と致しましては歳出との均衡を図る措置を講じていることを予め御了承願いたいと存じます。

勿論計画上赤字の出ることになつてはおりましても実際の執行に当りましては、極力これを軽減することに努め、少しでも財政の早期再建に努めたとい考えております。

さて、**明年度予算の内容**については別表に示す通りでこれを構成比率の上から眺めますと

科目	内訳 人件費	事業費	その他
消費的経費	六六、六%		
投資的経費	一六、三%		
公債費	一六、二%		
繰上充用金	〇、九%		

となつているのでありまして、前年度等に比し公債費が大きく膨脹していることにお気づき願えるかと存じますが、これは過般借入れ致しました財政再建債を昭和三十二年度より元金償還しなければならないからでありまして、利子と合せ五三、七七六千円を必要とするのであります。勿論これには政府から利子補給として約一千万円の交付を受けるわけでありますが限られた一般財源の中から四千万円以上も最優先的にこれに充当しなければならない関係上、勢い投資的経費にも制約を加えざるを得ない結果となつた次第であります。

以下施策の重なものについてその趣旨と計画の概要を申し上げます。

第一は教育に関する施策であります、かねてより教育施設の整備充実には力を注ぎ危険校舎、火災復旧等年々多額の予算を組んで実施して参つたのでありますが、明年度は、政府の重要施策の一つであります学校統合を実施することとし合併の結果、現在市域外にあります都南中学校を五ケ谷中学校と統合し適当な場所に新築する計画のもとに一二、六〇〇千円を計上し教室八教室及び職員室等の付属建物を含せ約三五〇坪の建築を実施したいと考えている次第であります。

次に、危険校舎の改築につきましては、現在その対象となる学校も八校を数え早急に改築の必要に迫られているのでありますが、財政的な制約から一挙に手をつけるわけにも参りませんので逐次実施して行きたいと考えているわけでありまして、明年度はその坪数等も大きい都跡小学校を実施することとし、八教室の改築費として八、四〇〇千円を計上致しました外、椿井小学校講堂の鉄材値上りに伴う予算不足の補填措置及びかねてから要望もあり、議会でも諸願の採択せられております中学校の講堂建築に要する経費として六、〇〇〇千円程度を計上致しましたが、これの実施につきましては改めて議会ともよく協議して定めたいと考える次第であります。

更に、かねてから懸案の若草中学校の陸橋、伏見小学校の生徒増に伴う教室改装、帯解小学校の職員室移転、平城、富雄小学校の水道敷設等義務教育施設整備事業として約一一、〇〇〇千円を繰込み、昭和三十一年度で起債の決定に伴い減額更正致しました佐保小学校の火災復旧事業費に三、五〇〇千円を計上したのでありまして、これにより佐保小学校は昭和三十一年度予算と合せ二四、一〇〇千円で鉄筋九教室の復旧を行いたいと考えている次第であります。

以上の文教施設整備関係事業費の外学校教育、社会教育の面につきましても、若干増額致し、教育の振興を図ることと致しました。

なお、特に御了解を得たいと存じますことは、従来学校事務職員の給与は市で負担して来たのでありますが、この学校事務職員につきましては、政府の地方財政計画の上におきましても又「市町村立学校職員給与負担法」の定めるところによりましても県で設置し、その給与も負担すべきものでありますので、先般来より奈良県市長会及び市教育委員連合協議会がタイ、アップ致し県当局に県費支弁に振替えるよう要請致しているのでありますが、現実の問題として県の財政事情等も勘案致しますとき直ち

第二に厚生関係の施策でありますが、申し上げるまでもなく、社会保障の拡充整備は文化国家としての急務であり、恵まれざる人々に対する生活安定のための施策は今後益々拡充強化しなければならない面が多々あるのでありますが、何分財源の増に多くを期待できぬ消費都市の本市として全国的にも高率と称される生活保護対象者を抱えておりますため、扶助費関係に一七、〇〇〇千円もの一般財源を充てなければならない現状にありますため、思い切つた施策もできないのでありますが、保育所、母子寡、授産場、及び公益質屋等の児童並びに社会福祉施設も十分とは申しませんが、一応できておりますので、これら諸施設の活用と管理運営に一段の工夫改善を加えたいと存じますが、新たに帯解に市の施設として共同作業所を設置することと致しました。

以上の外、例年通り遺児の靖国神社参拝、留守家族の援護対策、身体障害者の援護等を図るとともに、母子福祉対策としての生業並びに奨学資金についてもそ

市内で買いましょう！

たばこの販売につきましてはたばこ小売人の営業所所在の市町村に売価の百分の九に相当する消費税が収まることになつています。

ピース一個で三、六円光で二、七円でありますこうして昭和三十一年度中には奈良市で約三千五百万円のたばこ消費税を収納しました

× × ×

市の財政収入をふやす為にたばこは市内で買いましょう。

の賃付枠を若干ではございますが増加し、同和対策についても、環境改善事業等前年当初よりは増額計上致した次第であります

次に失業対策事業につきましては、一日一八五名の就労を予定し所要の予算を計上したのでありますが現在奈良市における失業登録人員は約千三百名に増加し、この予算では一人当り就労日数は漸く月間十六日を維持できる程度でありまして、増枠の必要を痛感しておるのでありますが、公共事業としての臨時就労対策及び特別失業対策事業等との関連もありまして、又県とも深い関係もありますので、これが打開に努力し、別途考慮することに致したいと存じております。

目下国会で審議中の国家予算では、一般失業対策事業の吸収人員も前年は二十万八千人でありましたのが好景気により昭和三十二年度は十八万七千人に減少するとして措置しているようでありまして、現実に東京都周辺は、減少しているようでありますが、わが奈良市の場合はむしろ増加しているようでありましてこうした面にも冒頭に申し上げましたように生産都市でない当市の悩みが窺い知られるのであります。

次に**衛生関係の施策**と致しましては、取立てて申し上げる目新しいものもないのでありまして、例年に準じ伝染病予防、そ族昆虫駆

昭和32年度一般会計歳入歳出予算案集計表　（単位千円）

科目 款	本年度予算額	内訳 人件費	事業費	その他	財源 特定財源 公営企業及び財産収入	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	寄附金	雑収入	市債	小計	一般財源
議会費	13.824	10.461	—	3.363	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.824
市役所費	140,000	124.602	—	15.398	—	4.000	—	—	—	—	6.274	—	10.274	129.726
消防費	22.576	17.515	—	5.061	—	—	17	—	—	—	—	—	17	22.559
土木費	21.639	3.663	7.326	10.650	—	1.333	505	550	—	1.500	—	—	3.888	17.751
都市計画費	38.287	534	31.500	6.253	—	—	450	17.000	—	—	4.850	4.000	26.300	11.987
教育費	118.637	50.725	35.475	32.437	2.987	—	13.715	8.264	685	2.199	—	6.000	33.850	84.787
社会及び労働施設費	138.829	4.887	29.017	104.925	790	—	5	91.372	1.730	—	7.851	—	101.721	37.108
保健衛生費	13.946	8.246	—	5.700	—	—	7.081	—	1.145	—	460	—	8.686	5.260
産業経済費	15.910	6.530	—	9.380	4.500	—	280	1.350	3.002	—	1.000	—	10.132	5.778
観光費	3.924	24	—	3.900	—	—	—	—	310	—	—	—	310	3.614
財産調査費	9.183	—	—	9.183	10.175	—	5.256	—	—	—	86	—	15.517	△ 6.334
統計費	704	—	—	704	—	—	—	—	326	—	—	—	326	378
選挙費	2.247	1.597	—	650	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.247
公債費	110,686	—	—	110.686	—	—	—	10.118	—	—	—	—	10.118	100.568
諸支出金	23.840	1.494	—	22.346	23	—	4.280	—	1.640	—	31.018	—	36.961	△13.121
予備費	3.500	—	—	3.500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.500
合計	677.732	230.278	103.318	344.136	18.475	5.333	31.589	128.654	8.911	3.699	51.539	10.000	258.100	419.632

昭和32年度予算案における投資的事業表　（単位千円）

予算案 事業名	事業費	財源 国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1. 普通補助事業	50.000	23.704	—	10.000	2.987	13.309
重幹拡張	22.000	14.000	—	4.000	—	4.000
重幹舗装	3.000	2.000	—	—	—	1.000
中学校統合新築事業	12.600	4.613	—	3.000	2.987	2.000
危険校舎改築事業	8.400	2.091	—	3.000	—	3.309
舗装道補修費	—	—	—	—	—	—
下水道事業	4.000	1.000	—	—	—	3.000
2. 単独事業	22.075	—	700	—	3.833	17.542
下水道事業	—	—	—	—	—	—
道路改良事業	2.000	—	—	—	—	2.000
橋梁事業	1.000	—	—	—	—	1.000
環境改善事業	2.100	—	700	—	—	1.400
火葬場事業	—	—	—	—	—	—
敷地整備事業	2.500	—	—	—	1.500	1.000
公共施設整備事業	2.500	—	—	—	—	2.500
道路舗装事業	1.000	—	—	—	333	667
義務教育施設整備事業	10.975	—	—	—	2.000	8.975
3. 失業対策事業	26.917	14.710	—	—	600	11.607
4. 災害復旧事業	4.326	550	—	—	—	3.776
a 公共	826	550	—	—	—	276
土木災害復旧事業	826	550	—	—	—	276
b 単独	3.500	—	—	—	—	3.500
小学校火災復旧事業	3.500	—	—	—	—	3.500
合計	103.318	38.964	700	10.000	7.420	46.234

—以下次頁へ—

除、トラコーマ予防等に約三百万円近い額を計上致しました外、伝染病院、診療所、と場、墓地火葬場等の運営管理費と清掃事業につきましては小型じん芥しゆう集車一台の購入費を計上した程度であります。懸案のし尿処理及び市営葬儀等につきましては、財政上の都合から未だ実施の運びに至らないことを残念に存しております。

なお、国民健康保険につきましては、政府としても社会保険施策の強力な推進を期する上から、四ケ年計画、国民皆保険の実施に踏切ったようでありまして、計画初年度たる昭和三十二年度に本市をその対象として指定される模様でありますので、その具体化をまって実施に移りたいと考え、目下鋭意準備を進めつゝありますので予めお含み願いたいと存じます。

第三に産業経済施策でありますが、観光都市としての性格上、商工業の面において両期的な産業振興対策を講ずることは、現実の問題として難しい事情にあるのでありますが、最近奥田布帛工場等も誘致致しましたし、積水化学の整備拡張等も実現を見る模様でありますので、今後も更に努力致したいと考えております予算と致しましては、商工観光関係とも大した額になっておらないのでありますが、国際文化観光都市の建設を目ざすわれわれと致しまして、昨年市会の議決を得て政府の許可も受けながら、寺側との折衝に意外に時日を要しました文化観光施設税につきましては、調停に入って頂きました谷井友三郎氏の御尽力によりまして解決を見ましたので近く実施する予定でありますので、これを財源として文化観光施設の整備を図りたいと考えている次第であります。いづれ本件につきましては、議会の審議を要することになりますが、許可の経緯に鑑み特別会計により予算措置を講じたいと考えております。

次に**農務関係対策**でありますが、六ケ町村の合併により農家地域も拡張され、農業施策の面におきましても従前のような安易な措置では時代に即応しないと考え、種々考慮を払ったのでありますが、財政上、到底御満足のいくような予算が組めなかった次第であります。然しながら園芸対策、畜産奨励、農業振興費等につきましても、若干増額し初年度として事業費六、五〇〇千円実施を目標に、政府の助成を得て約二、九〇〇千円を組んだ次第でありまして、農業施策に対する市費のつぎ込みも前年に比し約一、一〇〇千円の増となっているのであります。

第四、土木、都市計画等の建設事業施策であります農業土木についても前年より二割程度増桙致しました外、昭和三十一年度より大きく打出されました新農村建設総合対策もいよいよ明年度より実施の段階に入りますので、これに即応し、一般土木の面におきまして道路改良、道路舗装及び橋梁架換等財源さえ許しますならば施工致したいことは山積致しているのであります。これらにつきましては、概ね前年程度の額しか計上できなかったことを私自身としてもまことに残念に思う次第でありますが、延長六四〇キロに及ぶ市道の補修、舗装道の補修及び橋梁の補強等維持管理に前年度より約二、七〇〇千円の増額を行いました外地元負担を受けて、あやめ池及び富雄駅前の舗装工事費一、〇〇〇千円を組入れました。

次に**都市計画関係**と致しましては継続事業としての重要幹線街路拡張工事に二、〇〇〇千円を充当した外、施工済の拡張道路の舗装を一条通りまで約一八〇米を昨年に続き実施せんとするのと、下水道整備としては大体前年度並みの施行を致したいと考え、その所要額を計上するとともに、下水処理場用地の購入費も組み入れた次第であります又失業対策事業として昨年度と同様総合運動場の整地を続行するため、周辺の土地約三千坪を購入することと致しております。

なお、総合運動場の一環として、昨年度より市職員互助会において実施致しております鴻池釣場は、過去一ケ年の成績からみて収益採算の見込みもありますのでこの際市営に移管することに致したいと考える次第であります。

以上の外、昭和三十三年二月一日は、明治三十一年二月一日に市制が布かれましてより満六十年に相当致しますので、これを記念し適当な記念行事を行いたいと考え一、〇〇〇千円を計上致しましたがとり敢えず写真コンテストとしての現在の奈良及び東京での仏像等の展覧会、市民の歌募集等考えておりますが、このような小額な予算では到底記念事業的な大規模のことはできないと考えますので都合により昭和三十三年度予算で適当なものがあれば措置しては如何かとも考えている次第であります。

以上甚だ概括的ではありましたが明年度施策の主なるものについて御説明申し上げた次第でありますが、この歳出に対する歳入予算について申し上げますならば公共事業、生活保護等歳出との均衡を図った次第であります。

以上が明昭和三十二年度一般会計歳入歳出予算案の概要であります。

「現在の奈良」写真コンテスト

ネオンの光や青い灯、赤い灯のみが現代の感覚だとすればこれは恐しいことです、現在の奈良が次第に近代化されつゝあることは喜ばしいことですが同時に又悲しむべき現象ではないでしょうか。

わたくし達は古い奈良の中に新しさを見出すことこそ現在の感覚としなければならないと存じます。その意味において市制六十周年を明年二月に控えた奈良市では、その記念事業の一つとして**「現在の奈良」をあらゆる角度から紹介するにふさわしい写真**の募集をしています。

この写真は本年十月初旬から東京日本橋三越その他全国主要都市において行う奈良の紹介総合写真展に最低ワスマの四分の一の大きさに引伸し、約一五〇枚、作者名と説明を付して展示することになっています。

美しい風光に恵まれた奈良を広く内外に紹介することは国を挙げて観光に生きようとする今日より一層必要なことであります。すどうか奈良在住のカメラマンによって多数の傑作が寄せられ奈良が名実共に日本のふる里として親しまれますことを期待する次第です。

応募作品を直接搬入される場合は五月五日迄市民課へ搬入して下さい、大きさは四ツ切、枚数に制限なく未発表のものに限ります。

入賞作品には推薦一点

奈良県知事賞　さくら賞（二万円）

セコニック露出計L III型、東芝高級扇風機　その他

特選二点　奈良市長賞さくら賞（五千円）セコニック露出計21型　東芝電気釜オリンパスワイドその他

準特選三点朝日新聞社賞さくら賞（一千円）セコニック露出計L 8型　マツダ螢光スタンドその他

入選二〇点　賞状　さくら賞（記念品）マツダ閃光電球その他

佳作三〇〇点以内　賞状　紹介展に展示する作品には特に相当の記念品を贈呈します。

以上の他**努力賞**として市会議長賞、教育委員会長賞が贈呈される他、応募者全員の中から抽せんにより**十名**に対し東芝フラッシュ賞が贈られます。

定期種痘の実施日程

予防接種法の規定によりまして本年度定期（一期）種痘を行っております。既に明治、辰市、伏見、富雄、大安寺の管内では四月中に終了いたしましたが引続いて次のとおり実施いたします

▲接種の日時場所

接種月日	検診月日	実施時間	区域	実施場所
〃 五月七日	〃 五月十四日	〃 午前十時～正午	都跡校区	都跡診療所
〃 八日	〃 十五日	〃 午後二時～三時	帯解校区	帯解出張所
〃 九日	〃 十六日	〃 午後二時～三時	平城校区	平城出張所
〃 十日	〃 十七日	〃 午後一時～三時	精華校区	精華出張所
〃 二十日	〃 二十八日	〃 午後二時半～四時	東市校区	東市診療所
〃 二十一日	〃 二十九日	〃 午後一時～四時	椿井飛鳥佐保宮校区	椿井飛鳥佐保宮出張所
〃 二十二日	〃 三十日	〃 午後一時～四時	鼓阪美大区	鼓阪小学校
〃 二十三日			済	済美小学校
〃 二十四日			市庁別館	市庁別館

▲接種料金　一人十円

▲接種者の範囲

1、昭和三十一年七月一日から同年十二月三十一日までの出生児

2、前年度の未接種者、病気延期者及び陰性者

「母の日」

五月第二日曜日（十二日）

赤いカーネーションを胸に
母なき人は母をしのび
母います人は母に感謝を

市税の完納を目標に

税金は取りに来るまで放っておかないで忘れぬうちに納めるもの

昭和三十一年度出納閉鎖期を間近にひかえて滞納税の繰越分を徹底的に整理することとし特に収税職員は土曜、日曜を返上、全日勤務に切り換えて専ら市税の完納に努力致します。納税か徴税か、そんな、らちもないことは抜きにして健全明朗なる奈良市を築き上げてゆくために市民各位の賢明なる御理解と御協力をお願い致します。なお昭和三十二年度に於ける市税の納期限は次のとおりでありますから納期限までに忘れぬうちに完納して頂くようお願い致します。夫々納期限の当日には臨時納税所を開設し納税される方の便宜を図る予定でありますが、その都度新聞折込広告等でお知らせ致します。

各税目別納期の締切は固定資産税

第一期　四月三〇日
第二期　七月三一日
第三期　一一月三〇日
第四期　二月二八日

県市民税

第一期　六月三〇日
第二期　八月三一日
第三期　一〇月三一日
第四期　一月三一日

自転車荷車税

全期　四月三〇日

各税目は納期の締切の翌日から延滞金及び加算金が徴収されます、なお督促状を発送しますと督促手数料一通につき二〇円に徴収します。

一条高校卒業生の皆さんに

真澄会総会案内

日時　五月十二日（日）午前九時

会場　母校にて

会費　百円

◎年内に新会員名簿作製の予定住所変更、改姓等の向はお知らせ下さい

◎完成近き講堂をごらん下さい

飼犬の登録と予防注射について

昭和三十二年度の飼犬の登録と併せて第一回の狂犬病予防注射を去る四月初旬から実施いたしておりますが、なお引続いて次の場所で行いますから犬を飼っておられる方は必ず期日に受けて下さい。

▲引続き実施日程

月日	時間	場所
五月一日	前九時～正午	白壁保育園
〃 一日	後一時～後四時	飛鳥小学校
〃 二日	前九時～後三時	大安寺出張所
〃 六日	前九時～後三時	あやめ池連絡所
〃 七日	前九時～正午	学園町近鉄案内所
〃 八日	前九時～後三時	済美小学校
〃 九日	後一時～後四時	三条会館
〃 十日	前九時～後三時	佐保小学校
〃 十一日	前九時～正午	三笠山麓町交番所西側
〃 十三日	前九時～後三時	鼓阪小学校
〃 十四日	前九時～後三時	東向北町会所
〃 十五日	前九時～後三時	市庁別館前

▲料金

登録料　三〇〇円
注射料　一四〇円
注射済鑑札料　三〇円

×　×　×

なお飼犬については毎年四月に一斉登録を行うことになっていますが、その後犬を飼われた時はその都度登録を受けねばなりません、又犬は生後三ケ月以上になりますと飼犬として届出ねばなりません。

昨年度の飼犬登録数は奈良市におきましては三七六八匹でありました。次に予防注射は毎年春秋二回に定期に行っております、必要の際は臨時注射を行うこともあります。

第十一回市民体育大会は五月十二日（日）開催

奈良市消防後援会の昭和31年度決算を総会に代えてここに報告します

昭和31年4月1日　会長　小山恭二

会員の皆さんへ

昭和31年度歳入歳出決算書　奈良市消防後援会

1.歳入合計　一金 540,826円也
1.歳出合計　一金 537,978円也
1.差　引　一金 2,848円也

歳入決算内訳書

一金540,826円也　歳入総額

（内訳）

一金 2,824円也　昭和30年度より繰越金
一金 536,719円也　会費
内訳（一金529,889円　昭和31年度分
一金 6,830円　昭和30年度未収分）
一金 1,283円也　予金利子

（会費の内訳）

校区別	徴収額	予算額	比較	予算に対する増減額	昭和30年度分徴収額
椿井	64,150—	69,300—	減	5,150—	
飛鳥	86,600—	105,039—	減	18,439—	
鼓阪	50,759—	92,367—	減	41,608—	2,350—
済美	85,840—	122,001—	減	36,161—	
佐保	84,530—	138,963—	減	54,433—	4,480—
大宮	64,090—	74,448—	減	10,358—	
都跡	30,000—	45,408—	減	15,408—	
安寺	18,800—	18,777—	増	23—	
市	20,120—	37,488—	減	17,368—	
城	25,000—	30,822—	減	5,822—	
東			減	204,747—	
平			増	23—	6,830—
合計	529,889—	734,613—			

歳出決算内訳書

一金 537,978円　歳出総額

（内訳）

科目	節	決算額	予算額	比較	予算に対する増減額
事業費	少年消防クラブ育成補助	430,040—	581,500—	減	151,460—
	団運営補助	14,800—	40,000—	減	25,200
	教養講習補助	50,000—	80,000—	減	30,000
	防火宣伝補助	37,500—	53,000—	減	15,500-
	特別訓練警戒補助	99,340—	120,000—	減	20,660
	一般表彰補助	53,000—	65,000—	減	12,000—
	福利厚生補助	10,000—	30,000—	減	20,000
	災害見舞補助	106,000—	106,000—		0
	火災原因調査補助	0—	10,000—	減	10,000—
	退職慰労補助	30,000—	30,000—		0—
	弔慰補助	6,500—	10,000—	減	3,500—
	出初式補助	2,900—	7,500—	減	4,600—
		20,000—	30,000—	減	10,000—
事務費	議費	107,188—	148,500—	減	41,312—
	会校区消耗費	26,035—	40,000—	減	13,965—
	各消耗費	53,673—	73,500—	減	19,827—
	雑費	24,310—	30,000—	減	5,690—
		3,170—	5,000—	減	1,830—
予備費	予備費	750—	7,437—	減	6,687—
		750—	7,437—	減	6,687—
計	事業費	430,040—	581,500—	減	151,460—
	事務費	107,188—	148,500—	減	41,312—
	予備費	750—	7,437—	減	6,687—
	合計	537,978—	737,437—	減	199,459—